



Vol. 10  
びっくりな話

# こんにちは 絵本



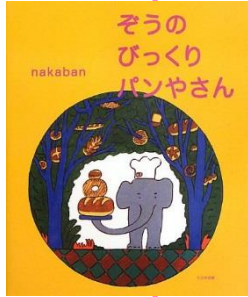
— 3才頃から —



一宮市立子ども文化広場図書館

～ 子ども読書のまち いちのみや ～

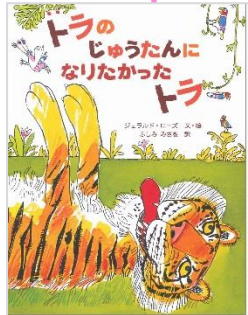
2019年4月



## ぞうのびっくりパン屋さん

nakaban 文・絵  
大日本図書 2013年

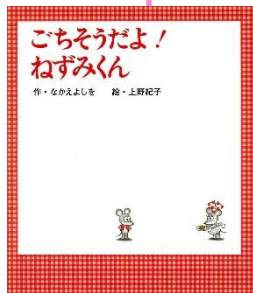
ぞうのスポンジさんは森のパン屋さん。「よし おいしくできたぞ」そう言うと外に出て、大きなみどりの玉をころがし始めました。その音を聞いて動物たちが集まり、その後をぞろぞろついて行くと…。



## トラのじゅうたんになりたかったトラ

ジェラルド・ローズ 文・絵／ふしみ みさを 訳  
岩波書店 2011年

インドのジャングルにやせこけたトラがいました。トラは宮殿の王様とその家族をみて、仲間に入りたいとしみじみ思いました。ある日、宮殿の庭に干してある毛皮のじゅうたんをみてひらめきました。



## ごちそうだよ！ねずみくん

なかえ よしを 作／上野 紀子 絵  
ポプラ社 2011年

ねみちゃんから食事にさそわれたねずみくん。友達と食べにきていいと言われたので、たくさん連れて行きました。ねみちゃんはびっくりです。次は「ひ・と・りだけよ」と言われたねずみくんは…。



## のはらのテレビジョン

五味 太郎 作  
偕成社 1996年

いつもの野原に出かけたぼくは、見知らぬおじさんを見つけた。そのおじさんは、ひとり野原の真ん中で、なんと！テレビをみていた。そのテレビは不思議で、いっしょにみていると…、えっ!?



## ピアノはっぴょうかい

みやこし あきこ 作  
ブロンズ新社 2012年

今日はももちゃんの初めてのピアノ発表会。胸がドキドキしはじめました。ステージのそばにいと、「だいじょうぶ」と声がしたのでももちゃんはびっくり！足元をみると、かわいいこねずみがありました。



## わらいじぞう

常木 蓬生 作／小泉 るみ子 絵  
女子パウロ会 2018年

7歳のかなは今日も畑仕事をするお父さんとお兄さんにお弁当を届けに行きます。かなは、その途中にあるおじぞうさんが大好きでした。いつも微笑んでいるからです。帰り道、おじぞうさんをみると…。



## ウサギのすあなに いるのはだあれ？

ジュリア・ドナルドソン 文／ヘレン・オクセンバリー 絵  
とたに ようこ 訳  
徳間書店 2017年

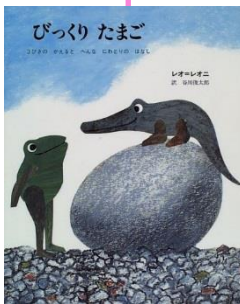
ある日、ウサギの巣穴から「おいらは、はらぺこぴよんがぶりん。ウサギのみみがたいこうぶつ」と大きな声がありました。おどろいたウサギは、ネコやクマたちと謎のかいぶつを追い出そうとしますが…。



## おむかえワニさん

陣崎 草子 作・絵  
文溪堂 2013年

ちよちゃんは一人で電車にのって、ばあちゃん家へ遊びに行きました。駅で待っていたのは、ばあちゃんのお使いとしてやってきたワニさんでした。一緒にどンドン歩いて行くと暗い道になってきて…。



## びっくり たまご

3びきの かえると へんな にわとりの はなし  
レオ＝レオニ 作／谷川 俊太郎 訳  
好学社 1996年

いしころじまに、3びきのかえるがいました。そのうちの1びきジェシカは、ある日、雪のように白く満月のように丸い大きないしころを見つけました。でもそれは、いしころではなく、きれいな卵でした。



## わくわく！ れっしゃで かぞくりよう

サトシン 作／羽尻 利門 絵  
交通新聞社 2018年

列車にのって、これから家族4人で旅行に出かけます。「たたん たたん たたんたたん」。駅で特急にのりかえ、列車はぐんぐん進みます。山をこえ橋をわたり、トンネルを過ぎると間もなく到着です。

## まだまだ紹介します

### 『おぼけだじょ』

tupera tupera さく  
学研プラス 2015年

### 『びっくり おおかみ』

佐々木 マキ 作・絵  
フレーベル館 2015年

### 『おっちゃん山』

椎名 誠 さく  
塚本 やすし え  
新日本出版社 2018年

### 『からかさにごえもん』

最上 一平 文  
国松 エリカ 絵  
文研出版 2016年

### 『びっくりパーティー』

パット・ハッチンス 作・絵  
舟崎 克彦 訳  
ポプラ社 1977年

### 『かぐやひめ』

円地 文子 文  
秋野 不矩 絵  
岩崎書店 1967年

### 『きりのなかの はりねずみ』

ノルシュテインとコズロフ 作  
ヤルブーソヴァ 絵  
こじま ひろこ 訳  
福音館書店 2000年



3・4才になると、一冊の本を聞き通す力が備わってきます。絵本の世界に入り込み、おはなしの展開を予想し、そして「どうしてそうなるの？」という理由も少しずつ理解できるようになってきます。「びっくり」なおはなしは、そんなみんなにぴったりの絵本です。どきどき・ワクワクしながら、楽しい時間をお過ごしください。パパやママもいっしょに…ね！

